

鹿児島市セーフコミュニティ

# 交通安全対策委員会～活動報告～



報告者：交通安全対策委員会 委員長

所 属：鹿児島県交通安全協会 専務理事 松元雄樹

# 交通安全対策委員会設置の背景

## (現状1)

不慮の要因による死者のうち  
約2割が交通事故

## (現状2)

救急搬送者の約4割  
が交通事故に起因

## (現状3)

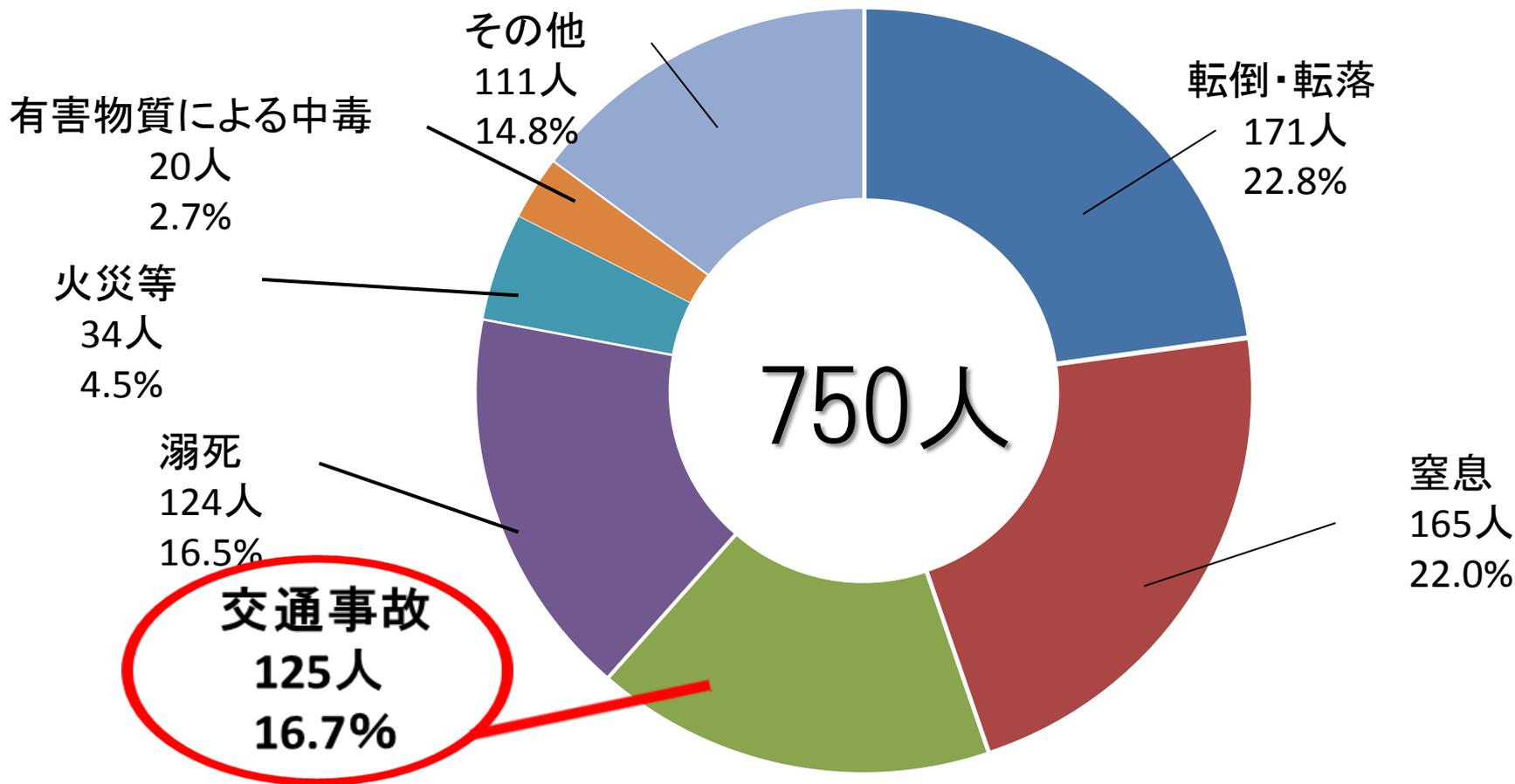
年間2万件を超える  
交通事故が発生



交通安全対策委員会を設置  
～目的:交通事故の減少～

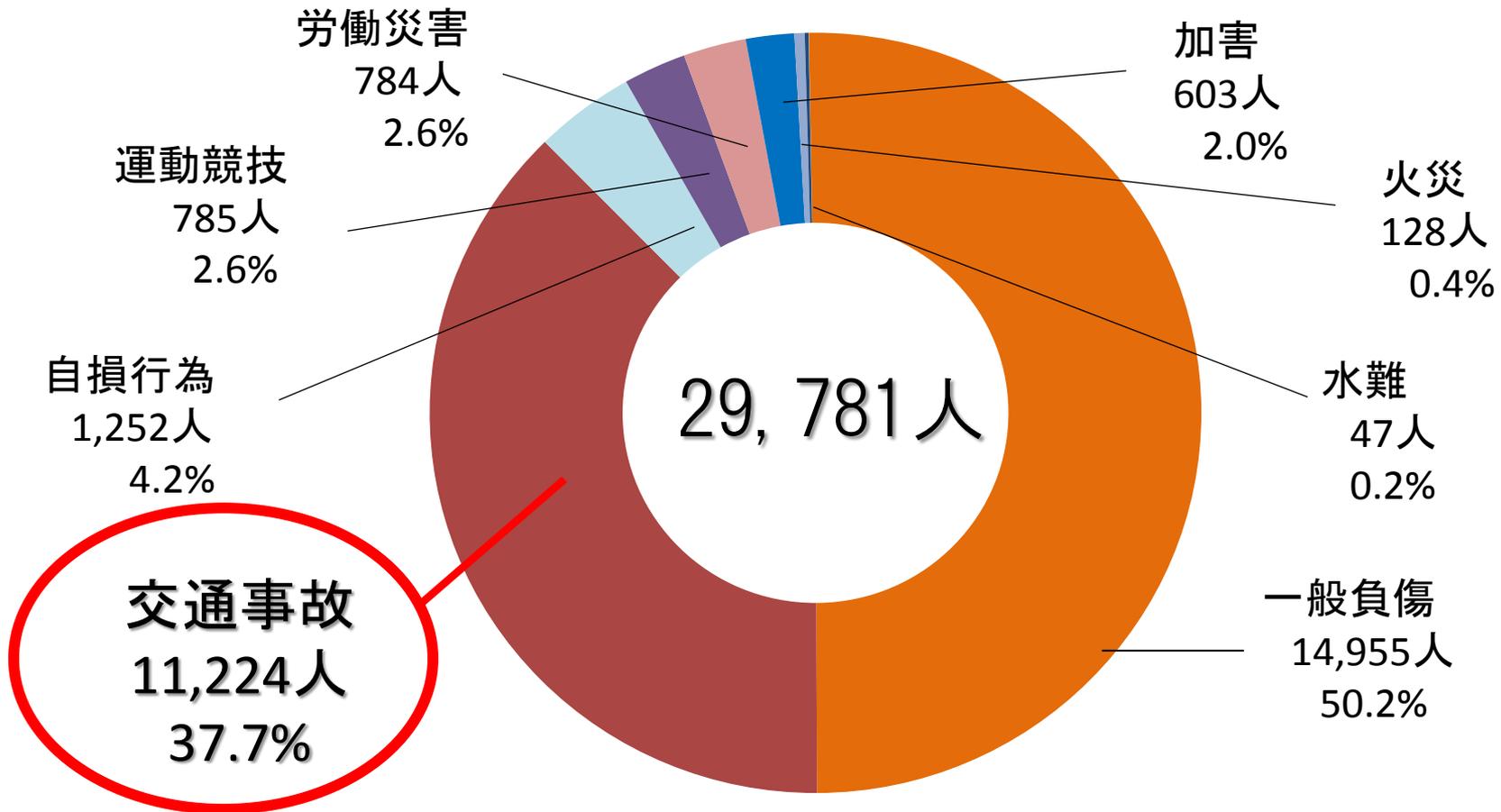
# 現状 1 不慮の要因による死亡者の状況

不慮の要因による死者のうち約2割が交通事故



## 現状2 事故別救急搬送の状況

救急搬送者の約4割が交通事故に起因

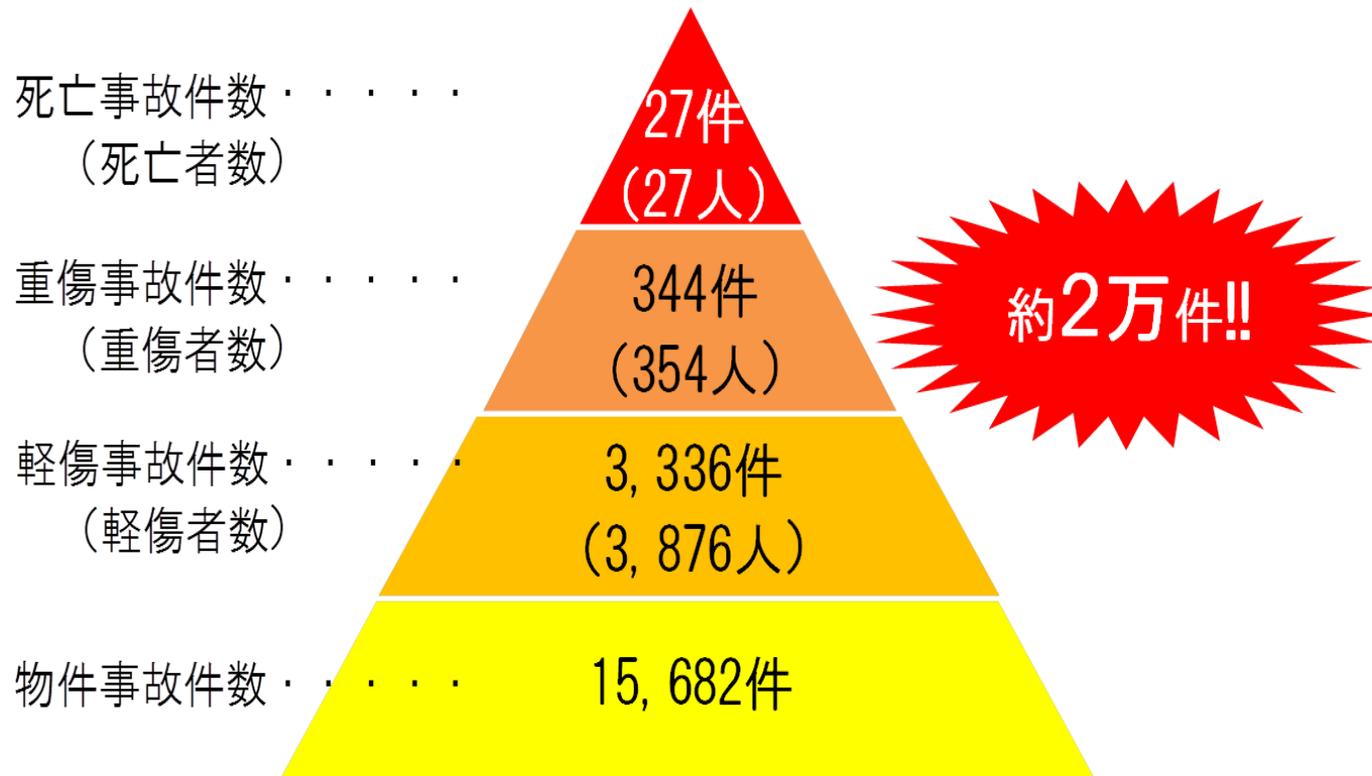


【出典】消防年報(市消防局) 【データ】市、両性、全年齢、2010~2014年合計

※救急搬送のうち、急病、その他(転院搬送など)を除く

# 現状3 交通事故発生件数（物件事故を含む）

年間2万件を超える交通事故が発生しており、  
4,000人以上が死傷



# 交通安全対策委員会設置の背景

## (現状1)

不慮の要因による死者のうち  
約2割が交通事故

## (現状2)

救急搬送者の約4割  
が交通事故に起因

## (現状3)

年間2万件を超える  
交通事故が発生



交通安全対策委員会を設置  
～目的:交通事故の減少～

# 交通安全対策委員会の委員構成

## 住民組織(1)

吉野校区安心安全ネットワーク会議  
【モデル地区代表者】

計20名  
で構成

## 学生(1)

鹿児島国際大学学生

## 行政(8)

鹿児島国道事務所  
県鹿児島地域振興局  
市教育委員会  
その他関係部局

## 関係団体(6)

県交通安全協会  
県交通安全協会鹿児島南地区協会  
市PTA連合会  
市交通安全母の会  
市老人クラブ連合会  
一般社団法人  
鹿児島県指定自動車教習所協会

## 警察(4)

県警察本部、警察署

**自動車による交通事故減少**

**高齢者の交通事故減少**

**子ども(中学生以下)の交通事故減少**

# 具体的な目標に対する取組内容・活動指標

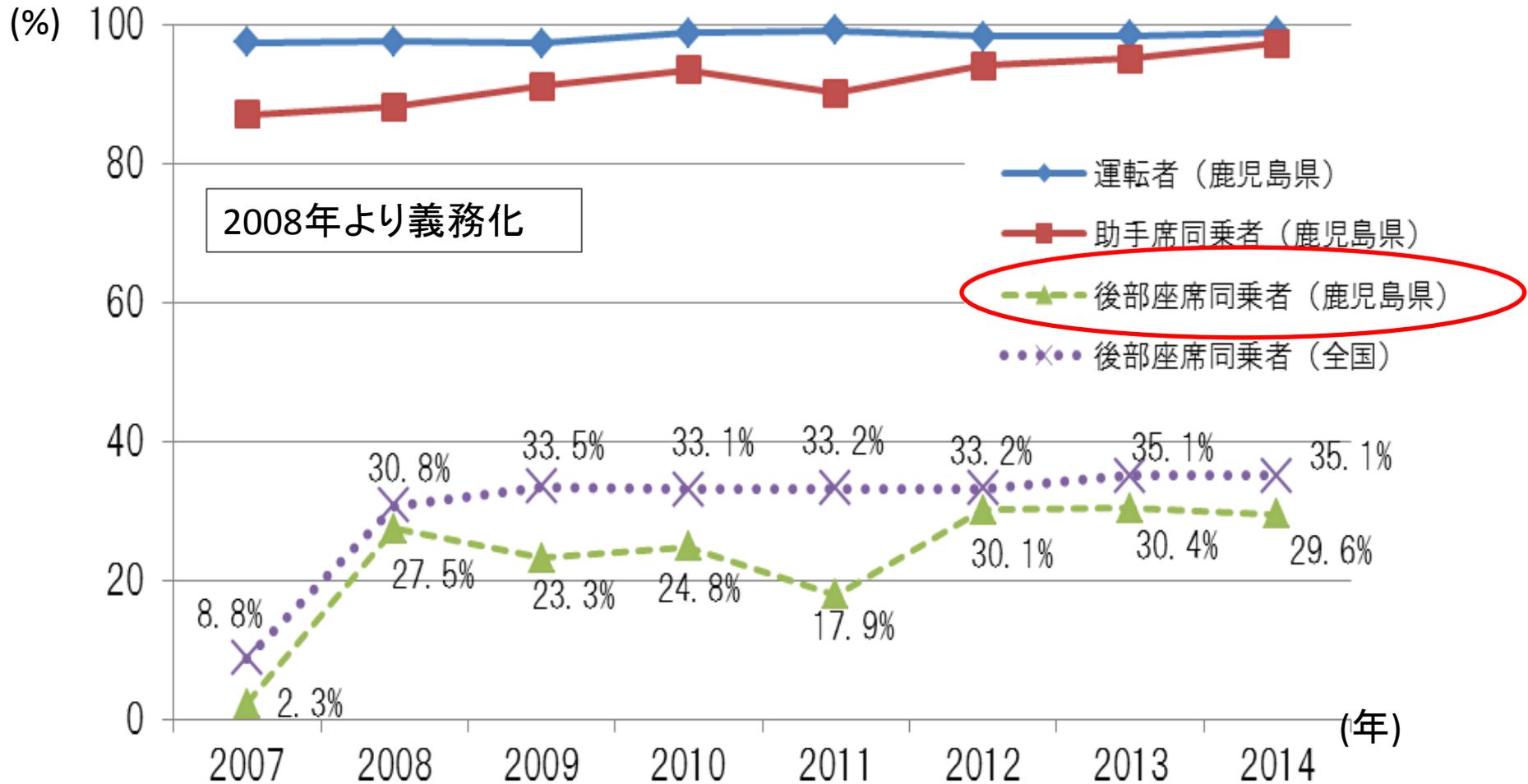
具体的な目標	対象者	取組内容	活動指標
自動車による交通事故減少	運転者	シートベルト着用の啓発活動(全席シートベルトの着用)	街頭キャンペーン等での啓発活動の実施回数・配布数
		企業等への交通安全講習等	企業等への交通安全講習等の実施回数・参加者数
高齢者の交通事故減少	高齢者	参加・体験型の交通安全教室等	交通安全教室等の実施回数・参加者数
		高齢者の世帯訪問による交通安全教育	高齢者の世帯訪問による交通安全教育を実施した世帯数・人数
		夜光反射材の着用啓発	街頭キャンペーン等での啓発活動の実施回数、反射材配付数
子ども(中学生以下)の交通事故減少	歩行中の未就学児、小学生	保護者等も含めた参加・体験型の交通安全教育等	交通安全教育等の実施回数・参加者数 保護者の交通安全教室等への参加率
	自転車乗車中の小学生、中学生	保護者等も含めた参加・体験型の交通安全教育等	交通安全教育等の実施回数・参加者数 (自転車大会等含む)

# 具体的な目標に対する取組内容・活動指標

具体的な目標	対象者	取組内容	活動指標
自動車による交通事故減少	運転者	シートベルト着用の啓発活動(全席シートベルトの着用)	街頭キャンペーン等での啓発活動の実施回数・配布数
		企業等への交通安全講習等	企業等への交通安全講習等の実施回数・参加者数
高齢者の交通事故減少	高齢者	参加・体験型の交通安全教室等	交通安全教室等の実施回数・参加者数
		高齢者の世帯訪問による交通安全教育	高齢者の世帯訪問による交通安全教育を実施した世帯数・人数
		夜光反射材の着用啓発	街頭キャンペーン等での啓発活動の実施回数、反射材配付数
子ども(中学生以下)の交通事故減少	歩行中の未就学児、小学生	保護者等も含めた参加・体験型の交通安全教育等	交通安全教育等の実施回数・参加者数 保護者の交通安全教室等への参加率
	自転車乗車中の小学生、中学生	保護者等も含めた参加・体験型の交通安全教育等	交通安全教育等の実施回数・参加者数 (自転車大会等含む)

# シートベルト着用率の推移

後部座席のシートベルト着用率が低くなっています。

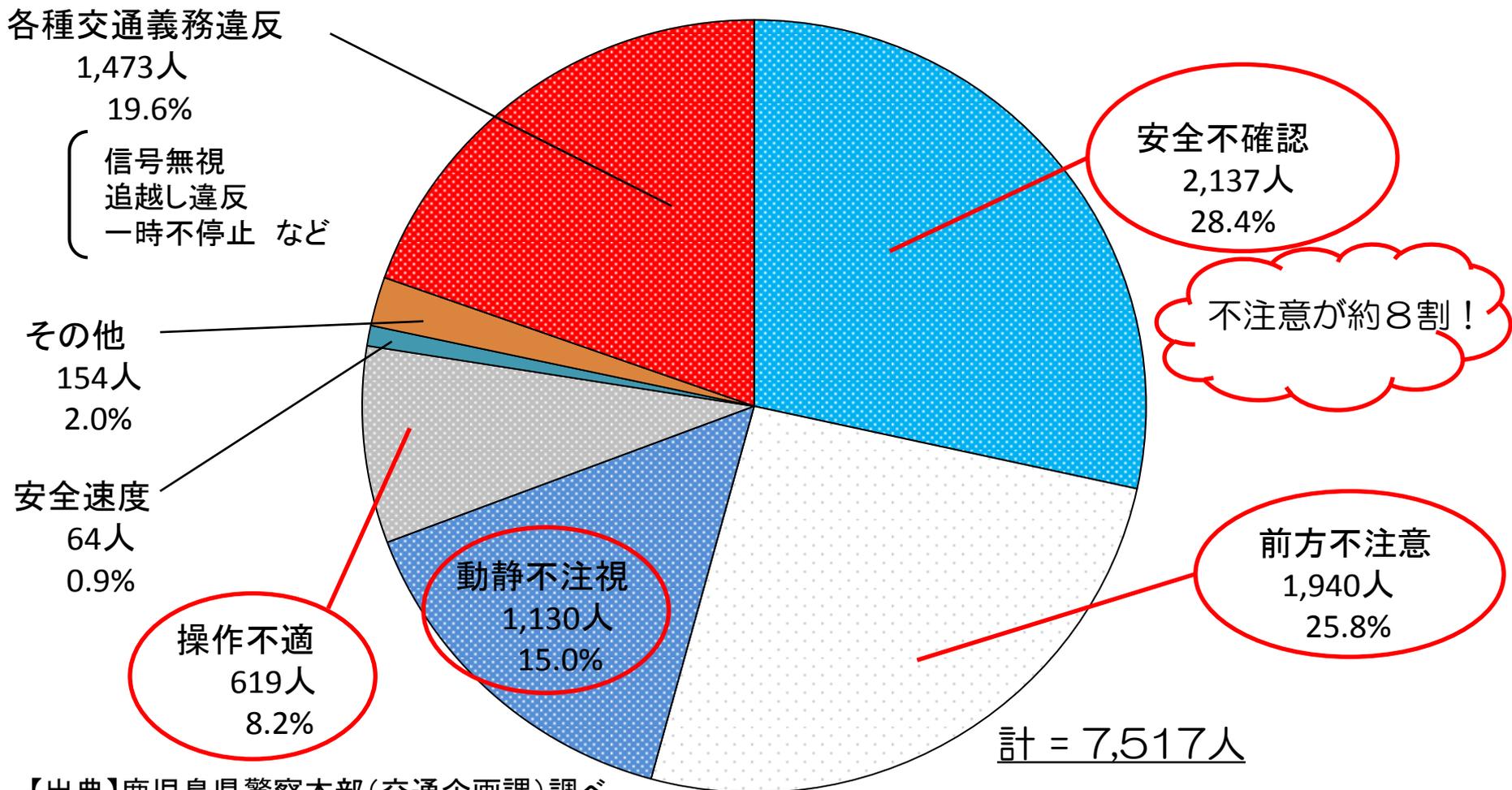


【出典】シートベルトの着用状況全国調査(警察庁、日本自動車連盟)

【データ】県・全国(一般道路のみ)両性、全年齢、2007~2014年

# 車両（軽車両を除く）運転者の事故原因

ちょっとした不注意が交通事故を引き起こしています。



【出典】鹿児島県警察本部(交通企画課)調べ

【データ】市(高速道路を含む)、両性、全年齢、2013~2014年合計

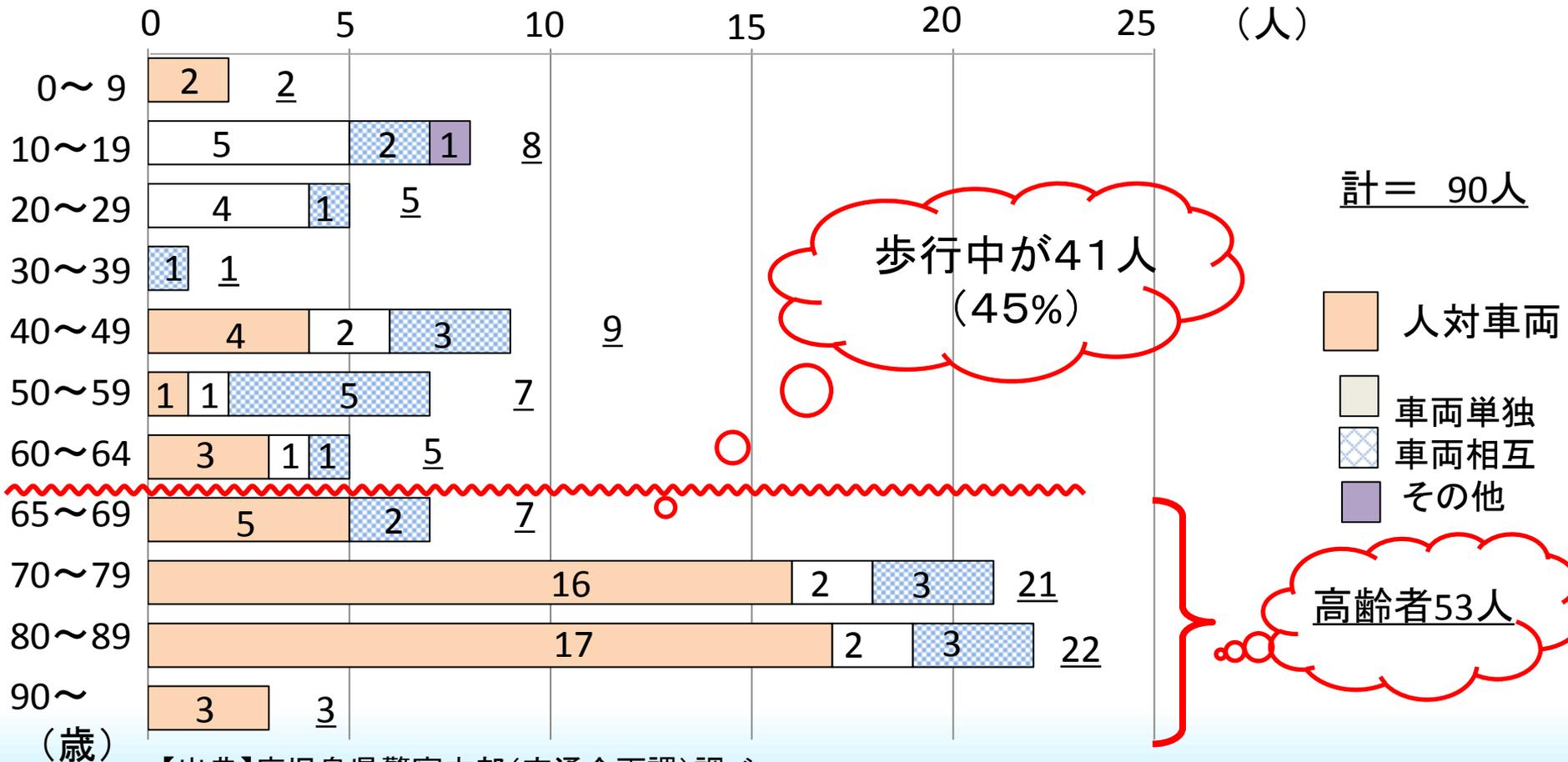
※車両(軽車両を除く)・路面電車に原因 (第1当事者のみ)

# 具体的な目標に対する取組内容・活動指標

具体的な目標	対象者	取組内容	活動指標
自動車による交通事故減少	運転者	シートベルト着用の啓発活動(全席シートベルトの着用)	街頭キャンペーン等での啓発活動の実施回数・配布数
		企業等への交通安全講習等	企業等への交通安全講習等の実施回数・参加者数
高齢者の交通事故減少	高齢者	参加・体験型の交通安全教室等	交通安全教室等の実施回数・参加者数
		高齢者の世帯訪問による交通安全教育	高齢者の世帯訪問による交通安全教育を実施した世帯数・人数
		夜光反射材の着用啓発	街頭キャンペーン等での啓発活動の実施回数、反射材配付数
子ども(中学生以下)の交通事故減少	歩行中の未就学児、小学生	保護者等も含めた参加・体験型の交通安全教育等	交通安全教育等の実施回数・参加者数 保護者の交通安全教室等への参加率
	自転車乗車中の小学生、中学生	保護者等も含めた参加・体験型の交通安全教育等	交通安全教育等の実施回数・参加者数 (自転車大会等含む)

# 交通事故による年齢層別死者の状況

交通事故死者は、歩行中の高齢者が多くなっています。



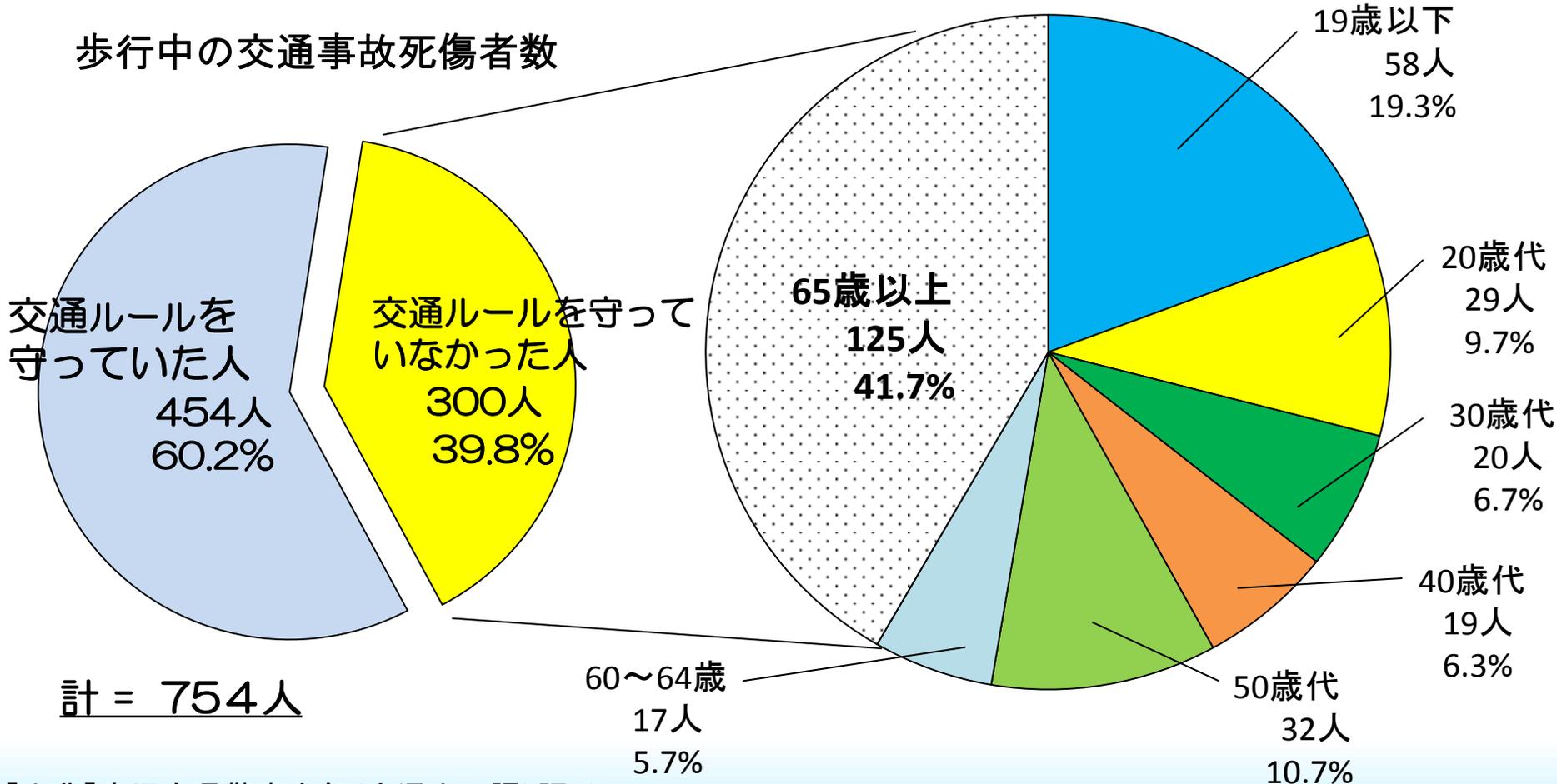
【出典】鹿児島県警察本部(交通企画課)調べ

【データ】市(高速道路を除く)、両性、全年齢、2010~2014年合計

# 年齢層別の交通事故死傷者数

交通ルールを守らずに死傷した歩行者のうち  
高齢者が4割を占めています。

歩行中の交通事故死傷者数



【出典】鹿児島県警察本部(交通企画課)調べ

【データ】市、両性、全年齢、2013～2014年合計(第1,2当事者のみ)

# 歩行中の交通事故死傷者数と夜光反射材着用率の関係

交通事故死傷者は夜間が約4割を占め、うち高齢者が多く、その大部分が夜光反射材を着用していません。

**反射材非着用**  
**328人**

19歳以下	23人
20歳代	55人
30歳代	47人
40歳代	30人
50歳代	41人
60～64歳	22人
<b>65歳以上</b>	<b>110人</b>

97%

337人  
43.5%

438人  
56.5%

夜  
昼

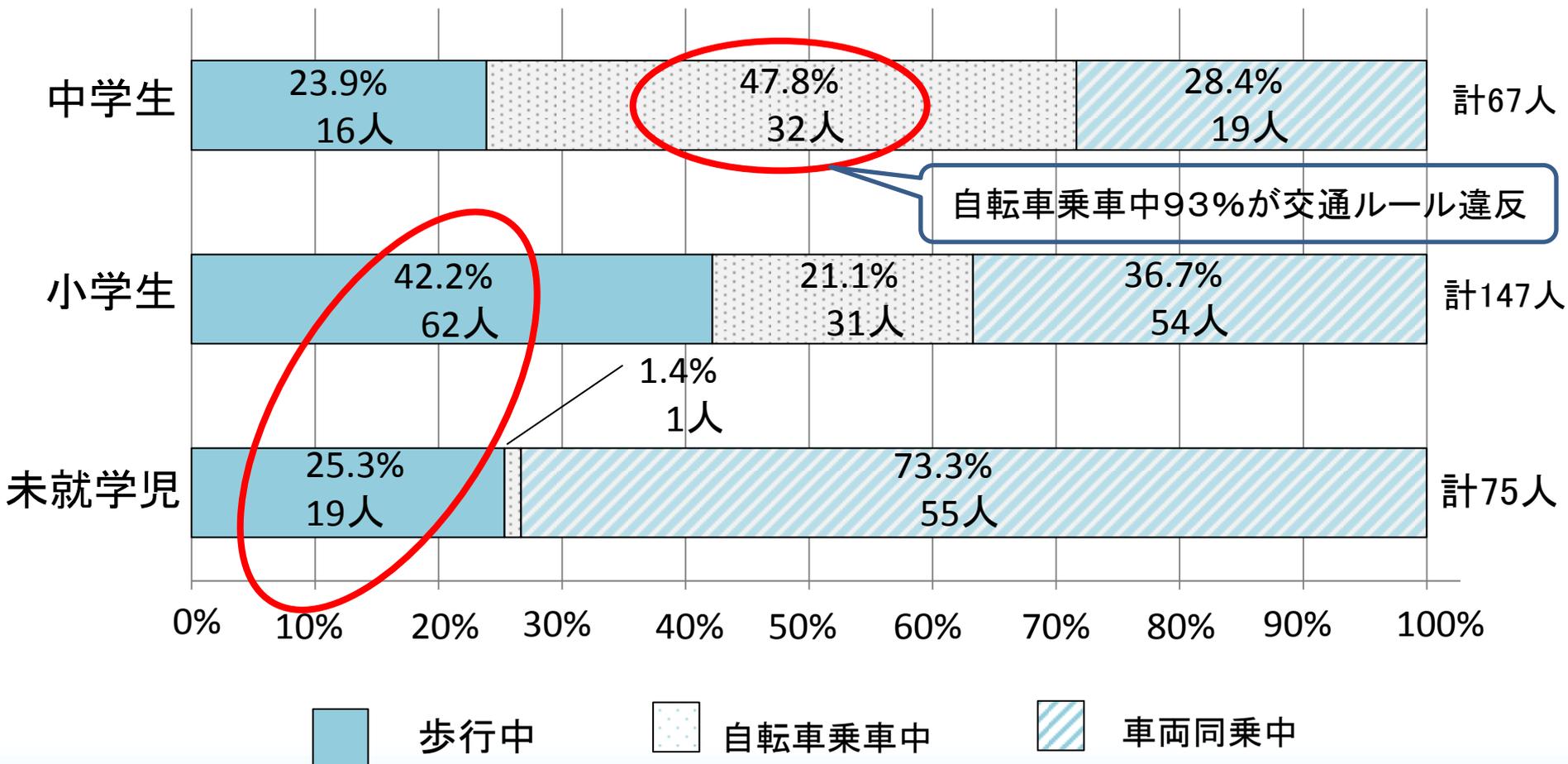
計 = 775人

# 具体的な目標に対する取組内容・活動指標

具体的な目標	対象者	取組内容	活動指標
自動車による交通事故減少	運転者	シートベルト着用の啓発活動(全席シートベルトの着用)	街頭キャンペーン等での啓発活動の実施回数・配布数
		企業等への交通安全講習等	企業等への交通安全講習等の実施回数・参加者数
高齢者の交通事故減少	高齢者	参加・体験型の交通安全教室等	交通安全教室等の実施回数・参加者数
		高齢者の世帯訪問による交通安全教育	高齢者の世帯訪問による交通安全教育を実施した世帯数・人数
		夜光反射材の着用啓発	街頭キャンペーン等での啓発活動の実施回数、反射材配付数
子ども(中学生以下)の交通事故減少	歩行中の未就学児、小学生	保護者等も含めた参加・体験型の交通安全教育等	交通安全教育等の実施回数・参加者数 保護者の交通安全教室等への参加率
	自転車乗車中の小学生、中学生	保護者等も含めた参加・体験型の交通安全教育等	交通安全教育等の実施回数・参加者数 (自転車大会等含む)

# 学齢別・交通事故状態別の死傷者の状況

中学生は自転車乗車中の死傷者が多く、未就学児、小学生は、歩行中の死傷者が多くなっています。

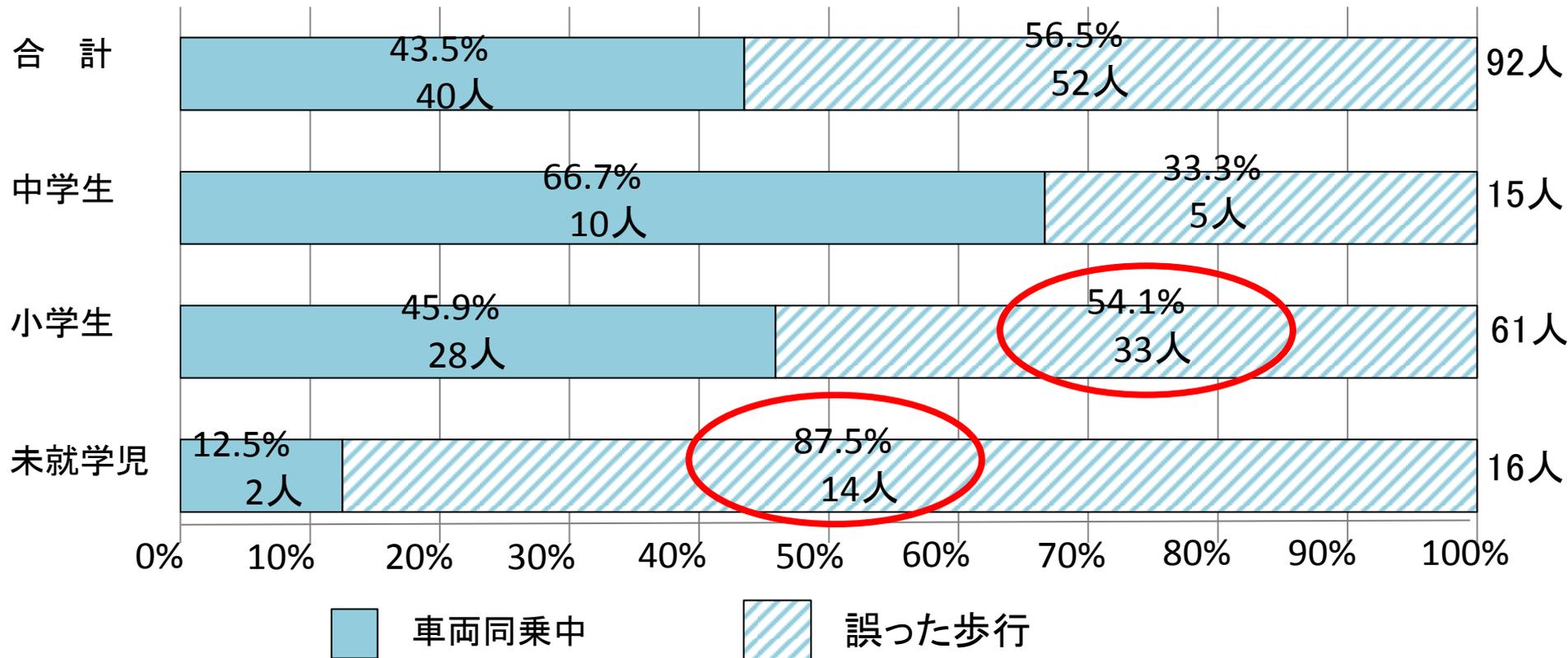


【出典】鹿児島県警察本部(交通企画課)調べ

【データ】市、両性、中学生以下、2013～2014年合計

# 学齢別における歩行中の交通事故死傷者の状況

子どもは交通ルールを守らずに交通事故に遭い、死傷することが多くなっています。



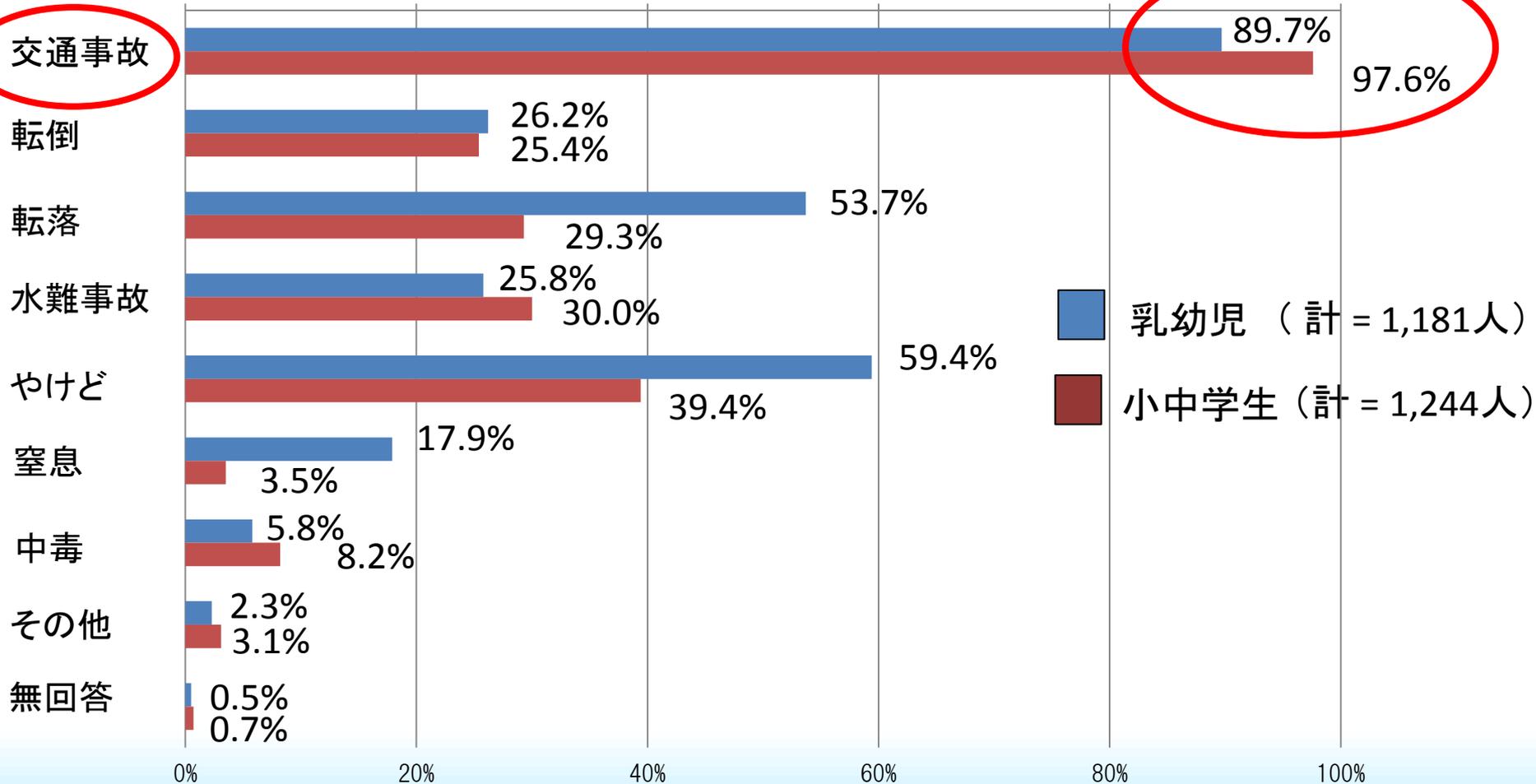
【出典】鹿児島県警察本部(交通企画課)調べ  
【データ】市、両性、中学生以下、2013~2014年合計

(交通ルールを守っていない歩行)

(第1、2当事者のみ)

# 子どもの保護者が懸念する事故の種類

保護者の多くは子どもの交通事故を懸念しています。



# 具体的な目標に対する取組内容・活動指標

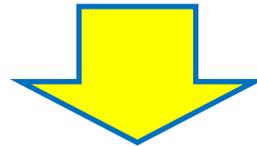
具体的な目標	対象者	取組内容	活動指標
自動車による交通事故減少	運転者	シートベルト着用の啓発活動(全席シートベルトの着用)	街頭キャンペーン等での啓発活動の実施回数・配布数
		企業等への交通安全講習等	企業等への交通安全講習等の実施回数・参加者数
高齢者の交通事故減少	高齢者	参加・体験型の交通安全教室等	交通安全教室等の実施回数・参加者数
		高齢者の世帯訪問による交通安全教育	高齢者の世帯訪問による交通安全教育を実施した世帯数・人数
		夜光反射材の着用啓発	街頭キャンペーン等での啓発活動の実施回数、反射材配付数
子ども(中学生以下)の交通事故減少	歩行中の未就学児、小学生	保護者等も含めた参加・体験型の交通安全教育等	交通安全教育等の実施回数・参加者数 保護者の交通安全教室等への参加率
	自転車乗車中の小学生、中学生	保護者等も含めた参加・体験型の交通安全教育等	交通安全教育等の実施回数・参加者数 (自転車大会等含む)

# 取組を実施するモデル地区の設定

- ・ 地域の安全確保のための活動を行う「**地域安心安全ネットワーク会議**」が活発である
- ・ 地域の児童数や高齢者数が増加傾向にある
- ・ 交通安全を地域の課題として認識している

学校や町内会等で構成  
地域の安心安全に関する  
活動に取り組む

**吉野地域の吉野小校区をモデル地区に決定！**



**セーフコミュニティを始めてからの変化**

関係する団体を吉野校区安心安全ネットワーク会議に追加  
(22団体⇒36団体)

〔追加団体: 幼稚園、保育園、お達者クラブ、長寿クラブ、タクシー会社〕

# 吉野小校区（モデル地区）の取組

ナイトスクール



交通安全マップ作成

## 吉野小校区交通安全マップ

吉野小校区は交通量が多く、道幅が狭いうえ、歩道が少ない地域です。  
このマップを活用して危険な場所を把握し、交通安全に努めましょう！

養護学校入口交差点付近



養護事故は少ないですが、  
昼夜を問わず多くの事故

鹿野島鏡養学校

吉野中

夜光反射材の効用体験



保護者等も含めた交通安全教室の実施



# セーフコミュニティによる変化と気づき

## 交通安全対策委員会の設置

吉野校区安心安全ネットワーク会議への関係団体の加入  
これまでの構成団体 22団体

↓  
新たな参加団体 14団体

地域住民、関係団体、行政等が実施している活動を共有でき、協働体制が充実

積極的に交通安全の取組を行うことができるようになった

鹿児島県警察セーフコミュニティ支援推進委員会の設置

鹿児島市に特化した統計データの提供体制が充実

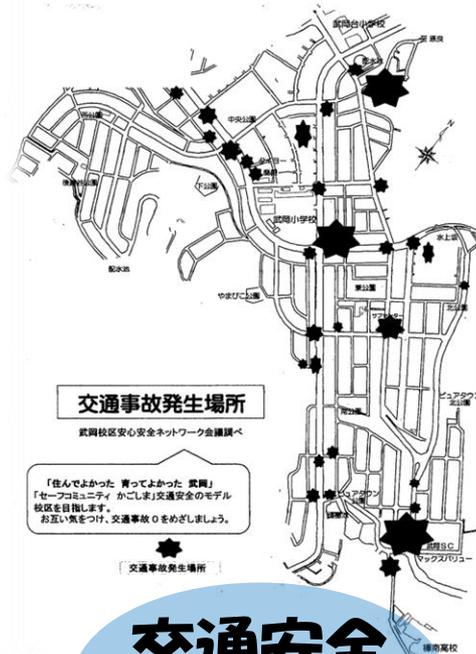
緻密なデータ分析が可能となり、より課題が明確になった

問題意識の向上・共有  
交通安全対策の充実

# 取組の全市的な展開に向けて

## 武岡校区

夜光反射材効用体験、交通安全マップ作成



### 交通事故発生場所

武岡校区安心ネットワーク会議調べ

「住んでよかった 買ってよかった 武岡」  
「セーフコミュニティ がかしま」交通安全のモデル  
校区を目指します。  
お互い気をつけ、交通事故 0をめざしましょう。

★ 交通事故発生場所

# 交通安全 マップ

## 星峰東校区

セーフコミュニティ大会



# 交通事故の減少に向けて



シートベルト着用街頭キャンペーン



ドライビングシミュレータによる講習



保護者等も含めた交通安全教室



交通安全マップ作成

ご清聴ありがとうございました



～世界基準の安心安全都市を目指して～

みんなで作るセーフコミュニティかごしま